

# F-REIの最近の動き (2024年11月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き  
(2024年4月～)」から2024年11月分を浪江町役場で抜粋し  
ております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。  
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

# 令和6年11月7日（木） 出前授業の実施（福島工業高等専門学校）

11月7日、福島工業高等専門学校（福島高専）で、化学・バイオ工学科2年生約40名にキャリア教育に関する出前授業を実施しました。

本出前授業は、福島高専の取組であるキャリア教育に関する特別活動にF-REIから講師を派遣したものとなります。

中西監事が講師を務め、これまでの多彩なキャリアを積んできた経験と当時の社会背景を語る中で、女性として、また研究者として何を感じ、考えたのか、さらにその経験がどのように後のキャリアにつながったのかを振り返りました。

また、特に海外を経験することから得るものはとても大きなものであることや、放射線は通常見ることが出来ない多くのものを見ることが出来ること、それ以外にも放射線の性質を利用して出来るものが幅広くあることなどについてもお話ししました。



# 令和6年11月12日（火） 出前講義の実施（弘前大学）

11月12日、弘前大学の学生約140名と青森県立田名部高校生4名に出前講義を実施しました。

本出前講義は、弘前大学の教養教育科目「持続可能な開発目標SDGs – 原子力災害の理解 –」の一環として実施したものととなります。

西山総務部長が講師を務め、東日本大震災から13年が経って福島県浜通り地域の現状がどのようになっているのかや、F-REIの取組について紹介しました。



# 令和6年11月18日（月） 出前授業の実施（小高産業技術高校）

11月18日、小高産業技術高校で、産業革新科3年生約20名に出前講義を実施しました。

矢部エネルギー分野長が講師を務め、「人間生活とエネルギー・環境への影響～2050年にカーボンニュートラルを実現し地球温暖化問題を克服するために～」をテーマとして、地球温暖化の原因、エネルギー技術・地球環境技術の全体俯瞰、カーボンニュートラルの実現に向けた技術開発などについて、最先端の研究内容も交えながら授業を展開しました。

矢部分野長は、「数十年かかっても実現させたい大きな目標を持ってコツコツと積み上げて努力して、実現してほしい」と生徒へメッセージを送りました。



# 令和6年11月18日（月） F-REI市町村座談会の開催（会津・南会津地域）

11月18日、F-REI市町村座談会（会津・南会津地域）を会津若松市で開催しました。

本座談会は、福島県主催の「イノベ構想参画促進セミナー」と合同で開催したものです。

座談会では、山崎理事長から「F-REIの創造的復興への挑戦」と題し講演を行った後、会津・南会津地域の市町村、企業・団体等を代表する方々から「科学技術や産業で考える、ふくしま（会津・南会津地域）の未来」のテーマのもと多くの貴重なご意見をいただきました。

また、翌日は、マツモトプレジジョン株式会社、スマートシティAiCT及び福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターを訪問し、視察及び意見交換を行いました。



# 令和6年11月24日（日） 国際アドバイザーとの意見交換を実施

11月24日、国際アドバイザーのライムント・ノイゲバウアー博士、スブラ・スレッシュ博士が来日し、F-REIの役員等と意見交換を行いました。

F-REI側から両博士に対し、直近のF-REIの活動状況を説明し理解を深めていただくとともに、ノイゲバウアー博士からは理事長を務めたフラウンホーファー研究機構でのイノベーションを進める取組について、スレッシュ博士からは米国国立科学財団（NSF）の長官や学長のキャリアを通じたご経験についてご講演いただきました。その後F-REIを国際的な研究拠点にするための方途等について活発な意見交換が行われました。

また、翌日は、浜通り地域の施設等を視察いただき、地域に対する理解を深めていただきました。



# 令和6年11月25日（月） F-REI・ICRP国際ワークショップを開催

11月25日、国際放射線防護委員会（ICRP）とともに、F-REI・ICRP国際ワークショップ「福島復興と放射線防護」を福島県いわき市で開催しました。

本ワークショップは、復興研究の促進や国際人材交流などを目的に開催しました。また、ICRP委員にF-REIや浜通りの復興状況を知っていただいたことで、本国や所属組織での広報効果が期待されます。

当日はオンライン参加者を含め約130名の参加を得ました。F-REIから福島復興に向けたF-REIの取り組みにつき講演し、ICRPから2名の専門家が放射線防護に関するICRP勧告につき講演しました。講演に引き続き、総合討論が実施されました。



# 世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ